IHG ANAホテルズグループジャパン

オフィシャルパートナーとしての企業紹介（参加目的等メッセージ、商材、連絡先など）

IHGホテルズ＆リゾーツは世界に6,600軒以上のホテル＆リゾートを運営するグローバルホテル会社です。日本においては、2006年12月に、IHGとANAの業務提携によるジョイントベンチャー会社、IHG・ANA・ホテルズグループジャパンを設立。ANAとの共同ブランドを含む10のブランド（シックスセンシズ、インターコンチネンタル、キンプトン、ホテルインディゴ、ANAクラウンプラザ、ホリデイ・インおよびホリデイ・インリゾート、ホリデイ・インエクスプレス、voco、ガーナー）を、日本全国に60軒（2025年12月末現在）を展開しています。

パートナー参加に関する基本的な姿勢、考え等

＜関心のある課題、取組＞

・IHGでは、私たちと一緒に働き、宿泊を共にし、パートナーとなってくださる方々とともに、責任ある旅の未来を創造していくための当社の約束を定めた、企業の社会的責任を果たすための事業計画「Journey to Tomorrow」を指針としています。
当社のパーパスである、「True Hospitality for Good」の実現に向けて、人々（People）、地域社会（Community）、地球（Planet）に関して、持続可能な旅の未来、雇用の向上、廃棄物削減（バスルームアメニティのバルク化等）などを推進しています。

＜企業等の強み等＞

・北海道から沖縄まで日本全国に、多彩なホテルブランドでホテルを展開
・IHGホテルズ＆リゾーツは、世界100カ国以上に6,600軒を超えるホテルとリゾートを展開
・世界最大級のロイヤリティプログラム「IHG One Rewards」

具体的な取組内容

＜本年度の取組＞

・日本全国各ホテルにて、Journey to Tomorrowの指針のもと、プラスチック削減、炭素排出量の低減、食料廃棄物の削減など、様々な環境に関する取り組みを継続的に実施しています。

例）

ANA インターコンチネンタル万座ビーチリゾート
サンゴ礁保全プログラム「GREEN FINS」導入日本のリゾートホテルとして初の公式認定を取得（2022 年）。さらに 2025 年に日本のリゾートで初の最高位「ゴールドランク」 に認定。

ホテルインディゴ箱根強羅
間伐材を使ったお箸の使用。。森林保全活動を支えるアクションとして、レストランでは箱根や小田原周辺の森で行われた間伐作業で得られた木材を使用しています。この取り組みにより、食材には薪の香りが移り、貴重な食体験が可能。

＜次年度取組予定、構想＞

・2026年も、Journey to Tomorrow に関する取り組みを強化してまいります。